

る料理も實際に習得しつゝ、經濟的にも啓發されん事を望み、將來のよき準備のために設けて居ります。

最後に我々も凡ての事を凡ての人の心に適ふやうに力め、人々の救はれんために己れの益を求めずして多くの人の益を求むるなり。

この尊き何物にもかへがたき犠牲の心こそ吾養成所に於て養はれん事を切に望み、常に信仰を希望し愛に滿されて、よき保母、保育者、子供の友となり、第二の日本國民のその双葉のうちより正しき道に歩ましめ、將來ますます國威を發揚し、世界の文化平和の爲に貢獻するところ多いならん事を切に願ひつゝ、又この事業の益々發展されん事を祈る次第でございます。

保母養成に就て

東京目白保母學校 和田實

私は、明治三十八年以來、保母養成には、随分、苦心して來たものである。此機會に其經驗の一端を述べて見たいと思ひます。

私が、幼稚園の仕事を爲始めた頃は、世間ではまだ、今日程、幼稚園の重要性を認めては居ませんでした、そして、稍々もすれば幼稚園に對する非難の聲が、相當、高かつたものです。中には文部省の御役人が堂々名乗つて、幼稚園の不要を新聞紙上に發表するご云ふ様なごもありました。夫等の人の重なる幼稚園反對論の主點は

一、幼稚園は子供を早熟な人ずれのしたものにす。

二、幼稚園出身は生物識なまものじりで學習の事物に興味がない。

三、幼稚園出身兒は先生に狎れて教師を敬はない。

四、幼稚園出身兒は始めは成績がよいが段々悪くなる。

五、幼稚園出身兒は上滑りして落付きがない。

六、幼稚園出身兒は注意が散漫して、根氣が足りない。

云ふ様に、色々な非難があつたものです。夫れで、私は、是は保母養成上、大に、考へねばならぬことだと思つて、當時、重立つた保母の方々の保育を參觀して、詳しく觀察して見ました。所が、是等の非難や攻撃は、何れも、保母其人の人格や手腕の不足缺點から、來て居るのだ云ふことを、段々判つて來ました。夫れで是ではいかぬ。此非難を除き此缺點を補つて、眞に、幼兒教育の効果を擧げるには、何うしても、優良に保母を養成しなければならぬ。夫れには、先づ、第一に保母は幼兒の生理、心理、に就いて、常識以上のものを持たねばならぬと思ひました。併し、當時の保母は其資格が準教員程度で、生理心理なきは世間普通の母親程も何うかと思はれる程度で、逆も保育の理論を理解する程度ではありませんでした。今日、保母の資格は高められました。併し、まだ満足は云ひ得ないと思ひます。今、一步を進めて、今日現在、幼兒の生理、心理が何の位進歩して居るか、其大體を理解する處まで行かなければ、そして、夫れを日常、自分の仕事の上に充分徹底した應用を持ち得る迄にしなければならぬ。保母の養成は此處迄、持つて行かなければならぬと思つて居ます。現在、保母の養成は法令上、一ケ年以上になつて居るので、多くの保母養成所は一ケ年で一先づ其養成を終了する様にして居ますが、充分の事は何うしても出來ません。是は尠くも、二ケ年にして、師範學校の二部と同

程度にしなければならぬと思ひます。然うすれば、自然、保姆の資格は小學校の本科正教員と同等の資格になりますが、夫れが當然だと思ひます。人に因るに、幼兒の保育は小學校の教育とは、全然、趣きを異にするものであるから、小學校の教員と資格を争ふことなき必要はない。云つて居るものがありますが、是は少し偏屈な考へで、専門教育なら兎も角ですが、普通教育を主とする教育者が、小學校の教育を辨へないで教育を談ずることは出来ない筈です。成る程、幼兒教育者即ち保姆は幼兒の教育を司るので、小學校を教ゆるのではありませんが、大事な小學校教育の基礎を作る以上、己れの築いた基礎教育の上に、如何なる教育が施されるのであるかを知らぬ様では、完全な基礎教育は出来ないでせう。且、又小學校の教育さへ理解出来ないものが、幼稚園の教育に従事する云ふことが従來、小學校の教員をして、保姆を輕蔑せしめた原因でもあるのですから、是は當然、同程度のものとしなければならぬ筈であります。

第二に必要なことは幼兒教育の本質として、遊戯的に誘導して行くことが多いのでありますから、保姆は凡ゆる遊戯手藝に堪能でなければなりません。然るに、現在、高等女學校や師範學校の教育に於ては語學及數學萬能で、圖畫、手工、音樂の如きは、學術の餘技であるかの如き有様で、一寸も重きを置いて居ません。従つて、女學校の生徒も女子師範の生徒も、主要學科と云へば語學方面、數學方面ばかりを考へて、之に全力を盡くして、餘技に等しい圖畫、音樂、手工の方面には力を入れません。従つて、人間としては段々、巧利一偏の性格を獲得するに止つて、人間味のある眞人格を涵養する暇なく學校を卒業して仕舞ひますから、いざ教育に従事するに際して、藝術的に感情的に興味本位に子供を誘導開掖することは思ひも、因らず唯、理窟一偏で、子供を知的に苛めることばかりしか出来ない片輪な教育者となつて仕舞つて居ます。是では、何年経つたまで眞の教育の出來様はありませんまい。女學校や師範學校は、もつと藝術的な教育に力を入れなければならぬと思ひます。尠くとも、女學校や師範學校の圖畫、音樂、手工の先生が、教頭や校長の位置にも進める位

な重要さを持たなければ駄目と思ひます。現在、學校の教員としての、是等藝術科擔當の先生云ふものは、何れも下つ端の教員として遇されて居るので、奏任待遇の位置を保つて居る人は極めて稀なのを見ても、思ひ半ばに過ぎることでせう。斯る藝術輕蔑の教育から卒業して來た人を入學させて、一ケ年で保姆の教育をするのですから、先づ困難を感じるのは、如何にして、是等の人に圖畫、音樂の技能を收得させ様か云ふことです。殊に、幼兒教育者として、子供の耳を發達させ、其聲を洗練す可き重大責任ある保姆が、音樂の修養に不熱心なものが多しことは思ひの外の喫嘆事であると同時に、之を如何にして學習せしめ様か云ふことは吾等其養成に従事するもの、困難を感じる所であります。保姆養成所の生徒の多くは器樂の修養には相當熱心によつて居ますが、聲樂なるを、却つて、馬鹿にして居て怠けて居るものが、存外、多いのです。呆れたことです。是は圖畫に於いても同様です。圖畫は子供の非常に悦び且好むもので、教育上から云つても、極めて、價値の多いものですが、是が根本指導要件として描畫の興味を啓發誘掖することが、一番必要なのですが、夫れには、凡ての他の遊戲と等しく、描畫の興味を子供の直觀に訴へて見せ付けてやらなければならぬのに、先生はスケッチが下手で、一向子供の感興を引き起すことが出來ないので、殊に女學校に於いて、日本畫を習得して來た人などは一層此傾向が烈しくて、御手本を見てゝなければ描けぬ云ふものが頗る多いのです。是等の人を督勵して、幼兒教育者としての技能を一に通り役立つ迄に習得させ様か云ふことは中々困難なことです。私の養成所では、特に此點に注意して、特別に、方法を講じて督勵して居ります。殊に、本年からは非常時局に鑑み、將來、教育の勃興に資する考へを以て、暑中休暇を廢止して此藝術的方面の教育を一層督勵しようと思つて居ます。保姆の養成は此方面に於いて格段の骨折を要するものと思ひます。

第三に注意を要することは、保姆學校入學前の生活が、單に、お嬢さんとして、兩親の膝下に可愛がられると共に、幾

分、中には多分に甘やかされて、育つて来たミ云ふ爲めに、依頼心は、逆も能く發達して居て、何事も、お膳立てを充分にして遣らなければ出来ないミ云ふことです。従つて、自ら積極的に活動して勉強しやうミ云ふ意氣組はないのです。講義は聞いては居るが、そして夫れをノートすることは、して居るが、判らぬ所を質問しやうでもなし、況して、研究しやうなきミ云ふ積極的態度は棄にしたくもないことです。故澤柳博士のお骨折で、ダルトンプランは可なり我國教育者の間に研究された様であるが、女學校には此教育法は少しも、實行されて居ない様です。一般に、女生徒は、唯、消極的に勉強せられるものをして居るだけで、夫れ以上に出る餘裕はないものを見えます。唯、一二の優等生が、時折珍らしく質問する位のもです。實に、女學生を教ゆる程、張り合のないものはありません。行儀よく、謹嚴靜淑に、よく講義を聞いては居りますが、眼光には精氣がなく、話すことが、判つたのか、判らないのか、講義して居ても、一向、手答へがないのです。是程、張り合のないことはありません。質問はないか、判らない所はないか尋ねても、依然として手答がない。試めしに一二の問を發して、答へさして見るミ全然講義を理解して居ないミ云ふ有様です。況して、應用問題なきを提出して見たところで、満足の答の出来るものは夫れこそ曉天の星です。誠に、張合ないこと夥たしい。斯る、消極的、無爲的、にのみ生活し、教育されて来た、甘つたれなお嬢さん連をつかまへて、一々年後には、積極的に有爲的に活動する教育者に仕上げ様ミ云ふのであるから、其骨の折れること、一ミ通りではありません。殊に此弊害は實習方面に遺憾なく現はれて來ます。彼女等は天真爛漫の幼児等を相手に遊ぶことであるから、何等の苦勞もなく、蝴蝶の花に舞ふ様にフラノミ遊んで居るならば夫れで、保育實習は濟むものゝ様に思つて居る。従つて、子供をしつけ様ミせず、遊ばない子供を遊ばせ様ミせず、片附け可きもの、整理す可きものが、足下に亂れて居つても、之を片附けることを氣附かぬ。況して、思ひ設けぬ問題の子供なきが出て、之を如何にす可きか、唯途方に暮るゝばかりで、進んで之を研究し

やうに云ふ氣力がない。掃除をするにしても、唯、床上の塵埃を掃除するのみで、鴨居の上棚の上は勿論、机、卓子、の上さへも、整理し掃除しやうとは考へない。一々夫れ、そこを注意されて始めて、氣が付く云ふ様な始末です。是を一ヶ年の中に、所要の希望點に迄、向上させ様云ふことは生なまやさしいことで、出来るものではありません。然るに、今日、完備せる實習場にもあらざる所に、唯、生徒の望むに任かせて、一定期間出席させた上で、實習を完了したものと認めることは果して、適當なことであらうか。幸に、實習場の主任が、人を指導するに足る腕前の人なら宜しい様なものゝ、さもなくて、腕もなく、誠意もない人であつたら、實習は、唯、徒らに時間を空費する怠惰心養成に役立つに過ぎまい。實習指導の任務は、決して、輕々に看過す可きものではないと思ひます。次に、

第四の重大點は、保母となる可き人の人格問題であります。教育者其人の人格が、教育の基礎をなすものであることは、今更、此處に論ずるの必要はありませんが、生徒の中には、餘りに、成つて居ない性格のものがあつて、往々、呆きれさせられることがあります。人を教育する方法は頓がて、己れを修養する方法學でありますから、私共は、教育の理論、方法を教ゆると共に、之を己が身に反省して、自己を修養する様に、訓戒して居るのでありますが、中々、効果は上りません。入學當時、怪しいなと認めたものは多くは其まゝ、日月を送つて、卒業の期迄行くのが普通の様です。誠に、教育者として、お恥かしい話です。其尤も甚だしいのに至つては讞示退學を命じたものも、二三あります。反省して、自己を修養するに云ふことは婦人には餘程困難なこの様です。二三の實例を上げて見ますと、寄宿舎に寝起して居ながら、始業時間間に合はず、顔も洗はぬ寢ぼけ顔を教室にさらす云ふのがあり、或は、數人の男性と祕密に文書の往復をしたり或は慕ひ寄る異性を、幸に、金錢を要求したり、或は己れの年のふけたのをかくさんが爲めに、化粧に憂身をやつして白や黒や赤や黄色と顔を五色に塗り上げて、一向、他の忠言を顧みない云ふのや、あちこちに借金をこしらへて、一向返

さうしないものや、平素は怠けに怠けて、いざ、卒業ミ云ふ間に、大慌てに慌て、も間に合はないにて、泣き落し戦術に出るミ云ふものや自分の分擔事項を成る可く人の蔭にかくれて、胡麻化して仕舞ふものや、分配品を、己れ一人、餘計に取つて、平氣で居るものや、上げ來るミ限りがない。其他、利己主義個人主義のもの、横着もの、狡猾なもの、我儘もの、不平家、文句屋等色々ある。是等を反省せしめて、行くことは、一ミ通りの骨折ではありません。たまに、成功して、生れ變つた様な人になるのがあるミ、其時の嬉れしさは格別なものです。斯様なことは滅多にはありません。併し、多少でも効果があれば結構なことです。倦まず、撓ゆまず、遣つては居ますが、そして常に、生徒の人相に注意して居るのですが、夫れでも、入學當時の人相に較ぶれば卒業の頃の生徒の人相は相當に、和やかな好ましい様子になるものが多い様に思ひます。中には入學當時に比して格段の相違を現はして、人を驚かすものがないでもありません。二三年前に、一人是のよい實例になるのがありました。三歳になる男兒を持つて居る年若の未亡人でしたが、入學當時の人相は憂鬱其もので、是で、幼兒の世話をする人になれるか知らミ疑つた位でしたが、段々注告して遣つて居る中に漸次、よくなつて、卒業間近になつた時は、すつかり、明朗其ものになつて、自ら、私はよい所へ入つた、お蔭で思はぬ修養をした。自分ながら、生れ變つた様な氣持だミ云つて感謝して郷里に歸つて行く、今は東北の或都會で、幼兒教育界に活躍して居ります。こんな風に、効果の上るのはよいですが、歪んだ性格の持主は之を外に表はさずして、且直さうしないので、向上は仲困難であります。従つて、幼兒教育者として適當な性格を備へたものミ云ふものは、極めて、尠いものミなる譯であります。是が、吾々、此仕事に従事するもの、大きな悩みミ云はねばなりません。是を何うしたら、充分効果を上げることが出来るでせう。私も未だに、適確な方策を持合せないのであります。一週一度の修身教授なごんで、何の役にも、立ちさうありません。次には

第五、女學校の卒業を云つた所で、まだ、やつこ、十八九歳になつたばかりですから、誰も彼も、常識がないのは尤もなこころであります。夫れが、何うも、普通の場合よりも、烈しい様に思はれるのであります。能く田舎から、飛び出しの女中が、色々非常識な事を爆笑の種子となるこころがありますが、同様なこころが頻發するので時には腹の立つ様な思ひをするこころ度々あります。器物の取扱、取次の仕方、電話の掛け方、挨拶の仕方、掃除の方法、悉く、手を探つて教へる様にしなければ飛んでもないこころを仕出來かして、後始末に骨折らせるこころが續出するこころ有様です。其度に、何さか今少し常識を持たす様な生活がさせられなかつたものかこ、お里の生活を邪推したくなる様なこころが年々數限りなくあるので、近頃は、是も仕方ないこころだこ、觀念して、始めから常識のない子供だこ考へるこころにして、凡べて、教へて掛るこころにして居ますが。去りこは小學校より女學校を通じての十年若くは十一年の教育は果して何をして來たのかこ云ひたい氣持にならざるを得ない状態です。此非常識のまゝで、社會に送り出したのでは、一旦就職の曉には父兄への應待も出來ないし、文書の交通も出來ないし、定めし困るこころだらうこ思はれるので、何かこ老婆心を苛らつかせるこころになりません。養成所は此點に就いても、相當、用意するこころがなくてはならぬこ思ひます。其他、責任觀念が薄くて、就職しても、缺勤を學校の缺席の氣持で、平氣で素放^{すほう}して、翌日、出勤して「昨日は云々」こ事後辯解したり。豫定表、豫定案の作製を怠けて居たり、譴責されば、直に泣き出すこ云ふ様で、誠に始末に困るものであります。管理法を教ゆる時に、職務規律の様なこころを充分、話すのですが、一向、氣に留めて居ないこ見えるのです。殊に、一ケ年も終りに近くに從つて、卒業の楽しみこ就職の悦びを空想する様になるこ此傾向は一層、烈しくなる様です。之を何さか、落付いて充分頭に入れさせる工夫はないものかこ是れも毎年々々繰り返して居る吾等の惱みであります。

以上は永い間の私の經驗の一端ですが、細かいこころを上げて行つたら數限りなくあるでせう。新に養成所を起される方

に幾分の参考ともならうかと思つて、書き連ねて見ました。

時局と保姆養成所

東京保姆專修學校

神 原

き く

國家總動員下の今日程、生活の凡る方面につき再檢討、合理化の考へられることはありません。必要のさせる消費節約、資源愛護、又體位向上ではありますが、この機會に眞の生活、健全なる生活への立て直しが企圖せられる機運が見えて居ります。

その中での子供の問題の大きいものは、母親の活動による託兒所増設の緊要を、國民體位向上の根本としての幼兒保健問題だと思ひます。前者は、應召者——婦人の活動——遺家族保護、婦人の活動援護の全國にわたる目前の必要から發しましたが、要保護階級の問題に止らず、働く母親の立場を子供の保育の合理化運動にしても、託兒問題が叫ばれて居ります。又更に、ある婦人團體では、幼兒期からの教育の必要を、幼稚園託兒所の效能を多くの母親に認めさせようとする啓蒙運動をさへ起しかけて居ります。後者は厚生省によつて、國家的施設、計畫のいろいろ、まことに根本的な企圖が示されます。國家的に、或は社會的に起つて居ります此の問題二つは、私共保育事業關係者當面の問題で託兒機關の増設、幼稚園の保育時間延長、三歳兒以下の預り、等は既に社會の要求のある點ですが、時局にそふやう早く計り度いものです。今日のやうに社會的必要の起つた場合、特に、幼稚園は此の機會に職能を再吟味する必要があるやうに思へます。